

令和7年9月17日

6年生保護者の皆様

刈谷市立東刈谷小学校長
土 居 哲 也

全国学力・学習状況調査の調査結果について

仲秋の候 保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動に御理解と御支援をいただき、ありがとうございます。

さて、4月18日に実施した「全国学力・学習状況調査」の調査結果が文部科学省から届きました。

つきましては、下記のとおり調査結果の取り扱いに関する方針と本校の結果の概要をお知らせします。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

本校は、文部科学省および愛知県教育委員会が示した「序列化や過度な競争とならないようにするため、文部科学省から提供された平均値等の数値そのものを公表しない」「データを分析し、改善すべき点の把握に努める」という方針に基づいて、概要を報告させていただきます。

2 本校の概要

国 語	平均的な状況である。さらに伸ばしたい点がある。 【知識・技能の観点】 ・特に、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができている。これは、日頃の漢字練習や音読練習など家庭学習にも力を入れ、授業においても語句の意味調べを行い、言語を大切に学習を取り入れているからと考えられる。 【思考・判断・表現力の観点】 ・特に、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができている。これは、「はじめ」「なか」「おわり」などの文章構成やそれぞれの場面の書かれている要素を捉える授業を大切にしているからと考えられる。 ・図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力が苦手である。よって、文章だけでなく、図表などの資料を活用したり、箇条書きにして要点をまとめたりして表現する学習を取り入れていきたい。
算 数	満足できる状況である。伸ばしたい点がある。 【知識・技能の観点】 ・特に、平行四辺形を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかどうかを見ることができている。これは、単なる図を書き写すのではなく、仕組みを理解しながら取り組んでいるからと考えられる。 ・本校では、算数の少人数指導を取り入れており、一人一人に能力に応じて、細やかで適切な指導体制が整っていることが、正答率の高さの要因として挙げられる。 【思考・判断の観点】 ・特に、目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかを問うことができている。これは、グラフの読み取りにおいて、横や縦の軸の表すことや単位をおさえるだけでなく、事象の変化に着目させ仲間と関わりながら協働的に取り組む学習を取り入れているからと考えられる。 ・$1 \div 2 + 1 \div 3$ など異分母の分数加法の計算をすることができるかを問うことが苦手である。よって、計算の仕組みを理解することだけでなく、繰り返し問題に取り組み、間違いを振り返る場の設定を強化していきたい。

理 科	満足できる状況である。伸ばしたい点がある。 【知識・技能の観点】 ・特に、花のつくりや受粉についての知識や乾電池のつなぎ方で直列つなぎに関する知識を問うこと正答率が高かった。これは、実際の花を顕微鏡を使って観察したり、乾電池と導線を使って実際に豆電球をつける活動の場を設定しているかと考えられる。 【思考・判断の観点】 ・特に、水の温まり方で問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することができている。これは、実験を通して仲間と関わりながら道具の使い方や温度の測り方、現象が変化する理由等を確認したり、考察したりする場を設定しているからと考えられる。 ・水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積減少した理由を予想し、表現することができるかどうかを問う問題の正答率が低かった。よって、これまで経験した事象や身近な事象を取り上げ、比較したり、関連づけたりして、目の前の現象を推察していく授業を心がけていきたい。
児 童 質 問 紙	【比較的「当てはまる」と答えた児童が多い】 ・将来の夢や目標をもっていると答えた児童が、やや多い。 ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることが、よくあると答えた児童が、やや多い。 ・土曜日や日曜日など学校が休みの日にも勉強をしている（学習塾も含めて）と答えた児童が、多い。 ・読書が好きで、学校の授業時間以外にもよく読書をする答えた児童が、多い。 ・算数の勉強が、好きであり、算数の授業内容はよく分かったと答えた児童が、多い。 【比較的「当てはまる」と答えた児童が少ない】 ・自分には、よいところがあると答えた児童が、やや少ない。 ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと答えた児童が、やや少ない。 ・地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでももらったりすることがあると答えた児童が、少ない。 ・自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると答えた児童が、少ない。 ・学習した内容について、分かった点や、よく分からない点を見直し、次の学習につなげることができると答えた児童が、やや少ない。 【これからに向けて】 ・自己有用感が低い児童もいるので、児童のよいところを見つけ、褒めていく機会を多くもっていきたい。 ・さまざまな意見を尊重し、認め合うことの大切さを学級経営や道徳の授業で充実を図っていきたい。 ・PTA行事や50周年行事等、地域や保護者と関わる場を大切にすることで地域や保護者とつながる喜びを実感させたい。 ・覚えたり、考えたりする力に比べて、表現する力が若干弱いため、授業を工夫し、児童自ら発信する場を設定していきたい。

3 留意点

- ・個人票については、夏休みの懇談会で配付させていただきました。